

令和6年度入学試験問題

数学(理系)

200点満点

《配点は、一般選抜学生募集要項に記載のとおり。》

(注意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 解答冊子は表紙のほかに、解答用ページ、計算用ページ、余白ページをあわせて16ページある。
3. 問題は全部で6題ある(1ページから2ページ)。
4. 試験開始後、解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答は問題番号に対応する解答用ページに書くこと。それ以外のページに書かれたものは採点の対象としない。ただし、その問題の解答用ページの見開きに隣接する計算用ページを、解答用ページの続きとして使用してもよい。その場合は続き方を示し、解答用ページに「計算用ページに続く」旨を明示すること。
6. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。なお、計算用ページおよび余白ページに書かれた解答のための下書き、計算などは、消さずに残しておいてもよい。
7. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
8. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、解答冊子は持ち帰ってはならない。

1

(30点)

n 個の異なる色を用意する。立方体の各面にいずれかの色を塗る。各面にどの色を塗るかは同様に確からしいとする。辺を共有するどの二つの面にも異なる色が塗られる確率を p_n とする。次の問い合わせよ。

(1) p_4 を求めよ。

(2) $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n$ を求めよ。

2

(30点)

$|x| \leq 2$ を満たす複素数 x と、 $|y - (8 + 6i)| = 3$ を満たす複素数 y に対して、 $z = \frac{x+y}{2}$ とする。このような複素数 z が複素数平面において動く領域を図示し、その面積を求めよ。

3

(30点)

座標空間の4点 O, A, B, C は同一平面上にないとする。線分 OA の中点を P 、線分 AB の中点を Q とする。実数 x, y に対して、直線 OC 上の点 X と、直線 BC 上の点 Y を次のように定める。

$$\overrightarrow{OX} = x \overrightarrow{OC}, \quad \overrightarrow{BY} = y \overrightarrow{BC}$$

このとき、直線 QY と直線 PX がねじれの位置にあるための x, y に関する必要十分条件を求めよ。

4

(30 点)

与えられた自然数 a_0 に対して、自然数からなる数列 a_0, a_1, a_2, \dots を次のように定める。

$$a_{n+1} = \begin{cases} \frac{a_n}{2} & (a_n \text{ が偶数のとき}) \\ \frac{3a_n + 1}{2} & (a_n \text{ が奇数のとき}) \end{cases}$$

次の問いに答えよ。

- (1) a_0, a_1, a_2, a_3 がすべて奇数であるような最小の自然数 a_0 を求めよ。
- (2) a_0, a_1, \dots, a_{10} がすべて奇数であるような最小の自然数 a_0 を求めよ。

5

(40 点)

a は $a \geq 1$ を満たす定数とする。座標平面上で、次の 4 つの不等式が表す領域を D_a とする。

$$x \geq 0, \quad \frac{e^x - e^{-x}}{2} \leq y, \quad y \leq \frac{e^x + e^{-x}}{2}, \quad y \leq a$$

次の問いに答えよ。

- (1) D_a の面積 S_a を求めよ。
- (2) $\lim_{a \rightarrow \infty} S_a$ を求めよ。

6

(40 点)

自然数 k に対して、 $a_k = 2^{\sqrt{k}}$ とする。 n を自然数とし、 a_k の整数部分が n 桁であるような k の個数を N_n とする。また、 a_k の整数部分が n 桁であり、その最高位の数字が 1 であるような k の個数を L_n とする。次を求めよ。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{L_n}{N_n}$$

ただし、例えば実数 2345.678 の整数部分 2345 は 4 桁で、最高位の数字は 2 である。

問題は、このページで終わりである。